

平成 29 年度文化財保護事業計画

1. 委員会

「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)、「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。

- ・文化財保護審議会：年 1 回開催

2. 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

- (1) 収集・保存
 - ① 寄贈文化財関係資料の受け入れ
 - ② 収蔵品の修繕
- (2) 調査・研究
 - ① 収蔵資料の整理
 - ② 資料室の整理
 - ③ 埋蔵文化財の調査

3. 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産(埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等)の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

- (1) 歴史資料展示室における資料の公開
 - ・開室日数 図書館開館日に準ずる他、展示準備期間等除く
 - ・展示内容
 - ① 企画展「絵図・地図の世界～ひとの足跡を知る～」
 - ・会 期 平成 29 年 4 月～7 月
 - ・内 容 江戸時代の国絵図・村絵図、明治時代以降の地籍図・地形図・行政図・土地宝典等から、過去の地名や土地利用の変化など古来この地で営み築いてきた暮らしの足跡をたどる。
 - ② 企画展「戦争と暮らし～庶民の戦争～」
 - ・会 期 平成 29 年 8 月～11 月
 - ・内 容 配給切符や陶製代用品等の戦争関連資料の展示を通じて戦時下で不自由な生活を強いられた一般庶民の暮らしを紹介し、平和の大切さを訴える。
 - ③ 企画展「装う～化粧道具の世界～」
 - ・会 期 平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月
 - ・内 容 手鏡や櫛、かんざし、鏡台などの装いに関連する民具資料を通じて、むかしと現代のおしゃれや化粧など装いの文化の違いについて紹介する。

* 小学校 4 年生の「むかしの暮らし」の単元の学習を想定。

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

・会 場 清洲市民センター3階302視聴覚室

回	月/日	内容	講師 (敬称略)
1	6/22 (木)	尾張藩士朝日文左衛門 ～『鸚鵡籠中記』の世界～	NPO 法人東海学センター 理 事 大下 武
2	7/27 (木)	名古屋近郊の戦争遺跡を探る	名古屋市教育委員会生涯学習課 学芸員 伊藤 厚史
3	8/24 (木)	信長の生誕地と津島まつり	愛西市教育委員会 学芸員 石田 泰弘
4	9/28 (木)	朝日遺跡出土の木製品とその意義について	愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員 樋上 昇

② 文化財講演会

戦国時代の尾張・清須に関連したテーマの講演会を開催予定。

- ・講 演 名 未定
- ・講 師 未定
- ・期 日 平成30年3月予定
- ・会 場 清洲市民センター

(3) 清須学講座

「清須」というまちの姿を知り、受講者のシビックプライドの醸成を図る。

・会場 清洲市民センター3階302視聴覚室

回	月/日	内容	講師 (敬称略)
1	6/10 (土)	(仮) 朝日遺跡	県生涯学習課文化財保護室 原田 幹
2	6/24 (土)	(仮) 清須の防災	清須市役所防災行政課
3	7/8 (土)	(仮) 清須城	県埋蔵文化財センター 専門員 鈴木正貴
4	7/22 (土)	宮重大根とは	宮重大根純種子保存会 会 長 河合 幹雄
5	8/26 (土)	(仮) キリンビールと清須の産業	キリンビール名古屋工場 総務・広報 山本 武司
6	9/9 (土)	庄内川に生息するアユの現状について	NPO土岐川・庄内川サポートセンター あいの 間野 静雄
7	9/16 (土)	青物問屋と西枇杷島まつり	清須市ガイドボランティア 毛利孝一
8	10/28 (土)	フィールドワーク (毛利氏の講座を踏まえた地域で実地研修を行う)	清須市ガイドボランティア

- (4) 文化財関係刊行物の販売
- (5) その他
資料調査、収蔵資料の台帳作成・データベース化

4. 施設管理・運営

各方面からの寄贈によって集まった貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

◎ 問屋記念館

- ・開館日数 306日（休館：59日）を予定
- ・展示の充実を図る。

5. 指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助する。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財（山車）
- (2) 管理費補助
 - ① 有形文化財
 - ② 有形民俗文化財（山車）
- (3) 公開費補助
 - ① 有形民俗文化財（山車）（尾張西枇杷島まつり）
 - ② その他